

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	環境水道課
会議名 (審議会等名)	平成29年度 第2回 嬉野市下水道審議会		
開催日時	平成28年5月25日(水) 10:00～		
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎 2-3-1会議室		
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可                 ・ 不可                 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	西 克典委員、小笠原康人委員、中島浩二委員、諸井洋委員、藤田達美委員、井上新一郎委員、江頭政美委員、宮崎 力委員、諸井愛子委員	
	事務局	環境水道課長、環境水道課副課長、環境水道課主査、環境水道課主事	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	委嘱状 会議レジュメ 説明資料		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	環境水道課
議 題	生活排水処理施設の整備及び整備計画の見直しについて		
内 容	事務局より、パワーポイントによる事業説明を行った。		
審議経過	事務局	パワーポイントによる事業説明…別紙資料参照	
	議長	以上の説明に質問はありませんか。	
	委員	公共下水道の区域の見直しで下不動地区、中不動地区が除外されれば、その地区は市が管理する浄化槽を設置することになることになるのか。	
	事務局	はい。事業区域の見直しを行い、都市計画決定後に市営浄化槽事業に取り組むこととなります。	
	委員	当初、公共下水道の計画では、人口増加、観光客増加を見込んでいたが、今の時勢から考えると見直す時期ではないか。 浄化槽事業に移行することで事業年度も短縮され、公共下水道とほぼ変わらない分担金、料金体系になるのであれば、早めに事業計画の見直しをすべきだと思うが。	
	事務局	審議会でエリアの合意がとれれば、都市計画決定を行い、告示して、早くてH29年度～というスタンスでやっていきたいと思っている。	
	委員	下不動地区は現在、公共下水道の区域になっているが、仮に公共下水道が供用開始されるまで待てず、合併浄化槽を設置する家庭が出てくると思う。浄化槽事業に移行したときの対応は。	
	事務局	今現在、公共下水道の計画区域で、認可が下りていない区域については、個人設置型の補助金で対応している。個人で設置をした浄化槽についても、都市計画決定後、公共下水道区域外になった場合は、浄化槽の帰属という制度がある。市に浄化槽を帰属後、維持管理は市で行うもので、希望があればその方法をとる。H27年度の実績として、浄化槽を30基帰属している。その30基についても、市で設置した浄化槽と同様、維持管理を行っていく。	
議長	区域の見直しについては、事務局からなにかありますか。		
事務局	今後の区域の見直しは早い時期がいい。ただ、その他問題点もある		

	と思うので、早い時期に審議会の議題としてあげさせていただきたい。
その他	

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	環境水道課
議 題	平成28年度の事業計画について		
内 容	事務局より、平成28年度の事業計画について説明を行った。		
審議経過	事務局	平成28年度の事業計画について その他検討事項について 資料にて説明・・・別紙資料参照	
	委員 事務局	市営浄化槽事業の浄化槽設置は申請順か。 昨年度、予算超過のため申請できなかったもの、新築や改築時期に合わせて浄化槽の設置を行うので、必ずしも申請順ではない。	
	委員	国の10年概成の向けて立派な案を作られている。県においても佐賀県生活排水処理構想をH28年3月に出している。公共下水道事業で効率悪いところを浄化槽事業に切り替える。これも10年後の計画、中期目標として浄化槽区域の普及率を上げることが掲げている。県の構想と合っており評価したい。今後の維持管理を考えて、市町型浄化槽事業を導入されていることについても評価されると思う。	
	事務局	ひとつお願いとして、公共下水道の接続率を上げて、経営の安定を図ってほしい。	
	委員	公共下水道の接続率について、議会でも何度となく質問が出ている。行政区ごとに接続率がわかるので、区長さんを通して、推進したいと思っている。	
	委員	先進的な汚水処理について、吉野ヶ里町で実施されているのが、農業集落排水の地区と公共下水道の地区を一体化して処理をする。嬉野市は農業集落排水と公共下水道の区域が分かれているので難しいと思うが、ほかの手法で取り組めば、接続効率が上がったり、国の補助率が上がったりするので、先進的な汚水処理についてもご検討いただきたい。	
	委員 事務局	観光施設、旅館の下水道の接続はありますか。 現在、大口の旅館の接続はない。浄化槽の維持管理費用と公共	

	議長	<p>下水道に接続した場合の水道使用料等を比較した場合、浄化槽の場合が安価であることから浄化槽から移行ができないのが現状である。今年度、料金体系の見直しを行っていくが、大口の旅館、老人ホーム等の軽減措置ができるか、できないかについても考えていきたい。</p> <p>次回できるかどうかわからないが区域の見直しについて諮問をさせていただきたい。委員の中には実際区域の状況がわからないということもあると思うので、一度現地を見て回って区域の決定をしたい。そちらのほうも事務局のほうで検討をさせていただきたい。</p> <p>ただ、夏場は控えていただきたい。状況を見ながら現地視察の日程を。</p> <p>本日は以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>
その他		